

研究分野		授業科目名				科目責任者	
形態系分野		呼吸器腫瘍学特論Ⅰ・Ⅲ				中田 昌男	
開講年次		共通／専攻／選択		単位数			
1,2,3,4		特論Ⅰ：必須専攻, 特論Ⅲ：選択		特論Ⅰ：4(2/年), 特論Ⅲ：1/年			
目的							
(1) 医学の発展に貢献し得る研究課題を探索するために、呼吸器腫瘍学における最先端の専門的知識を修得する。 (2) 研究成果を国民に還元するために、基礎研究の成果を臨床応用するための方法論を理解する。 (3) 研究成果を具体的かつ簡潔に発表する能力を身につける。							
授業到達目標							
(1) 呼吸器腫瘍学における専門的知識を述べることができる。 (2) 標準的治療の根拠となるエビデンスを説明することができる。 (3) 臨床研究の方法の長所欠点について説明することができる。 (4) 論文の内容について意見交換を行うことができる。							
授業計画							
回数	月日	曜日	時間	担当者	区分1	区分2	授業内容
1	毎週	火	17:00-17:30	中田 昌男	講義	[抄読会]	呼吸器外科学, 呼吸器腫瘍学の英文論文を紹介し, その内容に関する討論を行う。 [場所:本館棟9階第1カンファレンス室]
2	毎週	木	17:00-18:00	清水 克彦	講義	[症例検討会]	呼吸器外科症例検討会 [場所:本館棟9階第1カンファレンス室]
評価方法							
<b>【特論Ⅰ】</b> (1) 1年間※で、講義は30時間出席し、科目責任者から履修手帳に出席印をもらい、提出する。 (2) 1年間※で、論文紹介または症例発表を2回行い、その要約2編を提出する。 <b>【特論Ⅲ】</b> (1) 1年間※で、講義は15時間出席し、科目責任者から履修手帳に出席印をもらい、提出する。 (2) 1年間※で、論文紹介または症例発表を2回行い、その要約2編を提出する。 ただし、特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものと異なる論文(症例)であること。 特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。 ※1～3年生は2月末まで、4年生は11月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。33頁：単位履修方法参照。							
課題(レポート等)に対するフィードバック							
紹介論文の要約について、追加訂正がある場合は、新たな課題論文を提示し解説を加える。							
教科書							
ISBN-9780323523578, IASLC Thoracic Oncology (2nd Edition), Harvey I. Pass, et al., Elsevier, 2017 ISBN-9784307204569, 肺癌診療ガイドライン 2022年度版, 日本肺癌学会(編集), 金原出版, 2022							
参考書							
ISBN-9784524228157, 呼吸器外科テキスト：外科専門医・呼吸器外科専門医をめざす人のために, 日本呼吸器外科学会, 呼吸器外科専門医合同委員会編集, 南江堂, 2021							
準備学習(予習・復習等)							
(1) 講義ごとに紹介する論文をあらかじめ熟読し、内容を理解しておく。(1時間) (2) 教科書や参考書の関連する部分を予習しておく。(2時間) (3) 紹介した論文の要約を作成し提出する。(1時間)							
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連							
(1) 呼吸器腫瘍学に関連する深い学識を修得する。 (2) エビデンスを創設するために必要な臨床試験の方法論・思考法を習得する。 (3) 学術研究を実施するための高い倫理観を身につける。							
注意事項・メッセージ							
自ら課題を探索し、問題を解決するために必要な方法について、常に考える習慣を持つように心がけてください。							